

児童・生徒の実態

理解力はあるが、器用さに欠け、創造的な活動が苦手である。

☆手立て

- 自分で育ててきたカイコの繭を用いて干支を作る。カイコの繭を適当な形に切り取るところまでは指導者が行う。簡素化した干支の顔の描き方も指導する。



- 拾ってきた河原の石に、父母の顔をアクリル絵の具で描き、父の日、母の日のプレゼントとする。石を耐水ペーパーで磨き、下地材を塗るところまでは指導者が行う。



- 拾ってきたドングリから適当な形のものを選び、夫婦びなを作る。
児童にドングリを選ばせたあと、指導者がしっかりと接着する。細かい部分の塗りは手伝う。

支援を受けてみて

- 繭の工作は、自分で育ててきたカイコの繭だけに、こういう作品に生まれ変わったんだと子どもも感じたと思います。(保護者)
- 石の工作は、白い色のトラックも描けてよかったです。(本人)